

# 安全データシート

## KSK28

整理番号 koeikagaku-22  
作成日 2025 年 6 月 1 日  
改定日

### 1. 製品及び会社情報

製品名 KSK28  
会社名 全国農業協同組合連合会  
担当部門 耕種資材部  
住所 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F  
電話番号 03-6271-8285  
FAX 番号 03-5218-2536  
e-mail zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
緊急連絡先 03-6271-8285  
推奨用途 肥料

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

##### 物理化学的危険性

##### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分 4  
皮膚腐食性・刺激性 区分 1B  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 1

##### 環境に対する有害性

※上記に記載の無い危険有害性は「分類対象外」、「分類できない」または「区分外」に分類される。

#### ラベル要素

##### 絵表示又はシンボル:



##### 注意喚起語:

危険

##### 危険有害性情報:

飲み込むと有害  
重篤な皮膚の薬傷、眼の損傷  
重篤な眼の損傷

##### 注意書き:

#### 【安全対策】

取扱い後はよく洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
ミストを吸入しないこと。

#### 【救急処置】

保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用すること。  
飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師に連絡すること。  
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
皮膚に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師に連絡すること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

#### 【保管】

施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

#### 化学名:

成分	分子式	構造式	CAS 番号	官報公示整理番号	含有量
ケイ酸カリウム水溶液	非開示	非開示	非開示	非開示	非開示
その他	非開示	非開示	非開示	非開示	非開示

## 4.応急措置

吸入した場合：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 水でよく口の中をうがいする。必要に応じて医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合：	速やかに汚染した衣類や靴などは脱ぐ。アルカリ性の製品なので、付着した部分は石鹼を使用しないで微温湯又は水を流しながら、皮膚の刺激やぬるぬるする感じがなくなるまで洗い続ける。皮膚に異常があれば、医師の診断を受ける。
目に入った場合：	清浄な水で最低 15 分間以上洗眼し、直ちに医師の診断を受ける。 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。
飲み込んだ場合：	水で口の中を洗浄する。多量の水を飲ませて可能であれば吐き出させる。 直ちに医師の診断を受ける。

## 5.火災時の措置

消化剤：	水、粉末、泡等周辺の火災に適した消火剤
特有の消火方法：	周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周辺に散布して冷却する。
消化を行う者の保護：	消火作業時は必ず保護具を着用する。

## 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項：	漏出した場所にはロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 作業の際は、皮膚に付着しないように、眼に入らないように保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	できるだけ回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。この場合、pH6～8 の範囲で洗い流し、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法：	少量の場合は、ウエス等で拭き取る。 多量の場合は、土壌等で拡散防止を計ってから、ポンプ等でドラムやタンクまたはローリーにてできるだけ回収する。回収できなかった残分は、塩酸又は硫酸等で中和する。

## 7.取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
局所排気・全体換気：	屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気設備を設置する。
安全取扱い注意事項：	漏れ、あふれ、飛散しないようにする。容器を転倒や落下させたり、衝撃を加えたり、又は引きずる等の粗暴な取り扱いをしない。 濃厚な酸を加えてはならない。 使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
保管	
技術的対策：	冷暗所に貯蔵する。
安全な保管条件：	直射日光を避け、冷暗所に貯蔵する。密閉して、空気との接触を避ける。
安全な容器包装材料：	ステンレスもしくはポリエチレンの容器
不適切な容器包装材料：	ステンレス以外の金属容器

## 8.ばく露防止及び保護措置

設備対策：	取扱う作業場の近くには、手洗い・洗眼器と安全シャワーを必要に応じて設置すること。 屋内作業場での使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。
管理濃度：	設定なし
許容濃度：	設定なし
保護具	
呼吸器の保護具：	防塵マスク(国家検定品)
手の保護具：	ゴム製等
眼の保護具：	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	長袖、ゴム製長靴

## 9.物理的及び化学的性質

物理的状态：	液体
色：	データなし
臭い：	無臭
融点・凝固点：	0°C以下
沸点又は初留点及び沸点範囲：	約 100～120°C
爆発下限界及び爆発上限界・可燃限界：	不燃性
引火点：	なし
自然発火点：	不燃性
分解温度：	データなし

pH:	11.5 以上
動粘性率:	データなし
溶解度:	水に任意に溶解する
n-オクタノール／水分配係数(log 値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び／又は相対密度:	データなし
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

## 10.安全性及び反応性

安定性:	不燃性である。 引火性、可燃性、酸化性、自己反応性、爆発性等なし。 加熱・冷却・他の薬剤との混合によりゲル化することがある。
危険有害反応可能性:	酸と反応して、ゲルを生成する。 フッ化水素酸とは激しく反応し、フッ化珪素ガスを発生する。 濃厚な苛性アルカリとは激しく反応し、発熱する。
避けるべき条件:	アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属とは接触させない。 濃厚な酸を加えてはならない。密閉して、空気との接触を避ける。
混触危険物質:	フッ化水素酸、酸類、アルカリとの混触。 アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属。

## 11.有害性情報

急性毒性	
経口:	経口 LD <sub>50</sub> ラット ; 1280 mg/kg ; 1600 mg/kg マウス ; 1100 mg/kg ウサギ ; 1100 mg/kg これらの結果より区分 4 とした。
皮膚腐食性・刺激性: 眼に対する重篤な損傷 /刺激性:	in vitro 膜バリア試験結果より、国連 GHS 分類に基づく腐食性は区分 1B に分類された。 皮膚腐食性結果より、区分 1 とした。

## 12.環境影響情報

水生環境急性有害性:	情報なし
水生環境慢性有害性:	情報なし
残留性/分解性:	土壌中では容易に分解する。
土壌中の移動性:	環境中では水に溶解し、容易に移動する。

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物:	水で希釈後、塩酸や硫酸等で中和し、沈殿物を濾過分離する。 廃棄の際は、『廃棄物処理法』『水質汚濁防止法』等関連法規ならびに地方自治体の基準に従い、適切な廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装:	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行う。 空容器を廃棄する際は、内容物を完全に除去すること。

## 14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策 及び条件:	直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れ等のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。 重量物を上積みしない。
---------------------	---

## 15.適用法令

労働安全衛生法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
化学物質排出把握管理促進法:	非該当

## 16.その他の情報

本品には重金属類及び毒物等の有害物質は含まれていません。危険性有害性の情報は記載日付時点において正確であると信じて提供されるものでありますが、必ずしも充分ではないので取扱いに際しては十分に注意してください。この SDS は基本的な取扱いについて記述した文章であって安全保障書を意図したものではありません。

本 SDS は、下記晃栄化学工業株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	晃栄化学工業株式会社
住所	名古屋市中区錦一丁目 7 番 34 号
電話番号	052-211-4451
FAX 番号	052-211-4579